

[まるやまげんしりん／もいわげんしりん]

円山原始林／藻岩原始林

天然林

円山・藻岩山の森林は、開拓使時代から保護され、「原始林」と呼ばれてきた。しかし、実際は原生林に近い天然林で、冷温帶の渓谷沿いの森林を代表するカツラ林が発達する一方、北方針葉樹林の要素もみられる。

明治25(1892)年に日本各地を訪れたハーバード大学の高名な樹木学者サージェントより「土地の気候、山の大きさの割に極めて樹木が豊富で世界的にめずらしい」と評価を得た。北海道大学の館脇操によると、藻岩山一帯の植物は、414種に及んでいる。

新種の発見

札幌という大都市のなかにあって、市民に親しまれ保護されてきたことは、天然記念物としての価値をいっそう高めている。両原始林とも、大正4(1915)年、北海道庁が原生天然保護林に指定、同10(1921)年には、天然記念物に指定された。

札幌農学校は、この山で植物学の研究・実習等も行った。そのため多くの新種が発見され、この山にちなんだ学名をもつ植物に、モイワナズナ、モイワボダイジュ、モイワシャジン、モイワラン、ヤマハナソウなどがある。

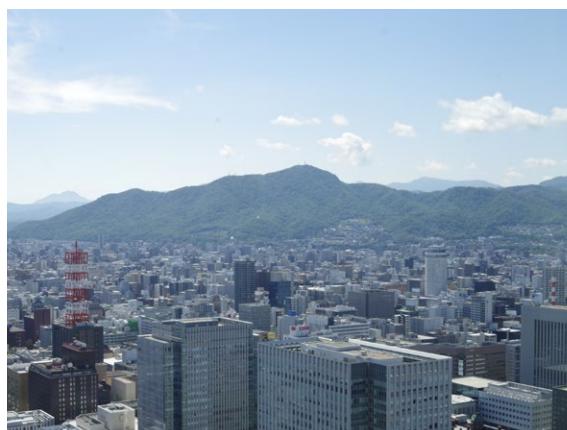
世界的にみて、わが国の1人当たり森林面積は小さいという。しかし、市域のうちに天然林をもっている例は少なく、ほとんど奇跡と言ってよい。



空中写真を立体表示 Esri社ArcGISにて作成



円山



藻岩山

概要

○円 山	山頂	226m
	指定区域	43.9ha
○藻岩山	山頂・標高	531m
	指定区域	284.68ha

● 指定年月日：

大正 10(1921) 年 3月 3 日

● 所在地：

札幌市 円山・札幌市 藻岩山

● お問い合わせ

石狩森林管理署 ☎ 622-5111

※藻岩・円山登山道に関すること

札幌市建設局みどりの管理課 ☎ 211-2522

※藻岩山展望台に関すること

札幌振興公社 ☎ 561-8177

